

《資料》

部落解放研究関係文献目録

(一九八二年七月～九月)

【現 状】

- 木村吾郎「(資料紹介)『皮革産地中小企業振興ビジョン』兵庫  
県商工部一九八〇年(昭和五五年)九月」
- (『ひょうご部落解放』六号、7月)
- 杉之原寿一「日本の民主主義と部落問題研究の課題―現状、行政  
研究」(『部落問題研究』七十一号、7月)
- 成沢栄寿「(動向)研究・手帳な方法による部落調査を」
- (『部落』四二〇号、7月)
- 住田昌二「都市部落論」(『住宅供給計画論』所収、勤草書房、  
7月)
- 大阪同和産業振興会編『大阪府下における資源再生(故紙)業界  
の現状と近代化の方向』(同上、7月)
- 大阪同和産業振興会編『食肉流通の現実と課題』(同上、7月)
- 杉之原寿一「図説現代の部落差別―実態と変化」(『市民学習シリ  
ーズ12』(兵庫部落問題研究所、8月)
- 村越末男編『佐賀県における同和問題の現況調査報告』

(部落解放研究所、8月)

- ニホンミック『切抜き速報教育版(人権と福祉編)』一九八二年  
四号(同上、8月)
- 西田英二「筑豊の部落に生きる農民たち―福岡県糸田町のタマネ  
ギ生産協同組合」(『部落解放』一八五号、9月)
- 田宮 武「意識調査からみた部落差別―伊丹市民の意識調査につ  
いて」(『ひょうご部落解放』七号、9月)
- 田宮 充「(資料紹介1)『創立二十周年記念誌』(大阪、ゴム履  
物工業協同組合・1976年(昭和51年11月)」(同右)
- 市川浩平「(資料紹介2)『大阪府革靴製造業産地中小企業振興  
ビジョン』(大阪府商工部・1980年11月)」(同右)
- 上田 一雄「被差別部落における就業構造の分析に関する方法的  
一考察」(『部落解放史ふくおか』二十七号、9月)
- 河野通博「1981年現状・行政研究の成果と課題」
- (『部落問題研究』七十二号、9月)
- 《特集》「社会福祉と部落問題―中高年齢者問題を中心にして」
- (『部落』四二三号、9月)

高島 進「社会福祉と部落問題—臨調・行政改革のむらうも」

高島進・川島芳雄・丸田剛一ほか「〈座談会〉大都市部落における中高年齢者問題」

山本敏貞「未解放部落における老人問題」

部落解放住吉地区総合計画実行本部編『部落解放住吉地区実態調査報告書』(同上、9月)

東京都産業労働会館『かわとはまの』№41(同上、9月)

大分市・大分市教育委員会ほか編『同和問題に関する市民の意識〈同和教育推進のために〉』(同上、1981年5月)

神戸市・神戸市同和对策協議会編『住民生活総合調査報告書(分折編)』(同上、1981年11月)

神戸市・神戸市同和对策協議会編『住民生活総合調査報告書(資料編)』(同上、1981年11月)

白沢政和「同和地区老人の生活実態」主として大阪市老人調査と比較して」

〔『大阪市立大学生活科学部紀要』二九巻、1982年2月)〕

糸島郡「同和」白書運動推進協議会編『糸島郡「同和」白書運動実態調査報告書』(同上、1982年2月)

部落解放加島地区総合計画実行委員会編『部落解放加島地区総合実態調査報告書』(同上、1982年2月)

更池健康促進連絡会編『部落解放更池地区保健衛生活動の15年』(同上、1982年3月)

大阪同和産業振興会編『食肉流通の現実と課題』

(同上、1982年3月)

毎日新聞大分支局編『熱い叫び—被差別部落からの告発』

(叢書房、1982年6月)

MARTIN KANEKO・BURAKU-DISKRIMINIERUNG IM DISTRIKT ASO-Die Large im diskriminierten Buraku Ojima'

(BEITRÄGE ZUR JAPANOLOGIE) 84er 1982年)

【注 政】

《特集1》『地域改善対策特別措置法と兵庫県政』

(『ちやうど部落解放』六号、7月)

杉之原寿一「日本の民主主義と部落問題研究の課題—現状・行政研究」(『部落問題研究』七十一号、7月)

西脇忠之「兵庫における同和行政見直しと部落解放運動の課題」(同右)

松村晃一「大阪における同和行政の今後の方向について」

(同右)

中西義雄「(資料) 地域改善対策特別措置法の施行—国民世論の支持を得た全解連の提案」(『部落』四二〇号、7月)

山本敏貞「(動向) 行政・京都府衛生部「同和担当保健婦」を府下全保健所に置く」(同右)

《同特法から地域改善法へ—1981年度の部落問題》

(『部落』四二二号、7月)

藤谷俊雄「同特法から地域改善法への年」

杉之原寿一「新たな転機をむかえた同和行政」

(資料)「地域改善対策特別措置法に関する資料」(文部省、厚生省、農林水産省ほか)「

前田泰義「西脇市同和对策審議会」同和行政の今後の方向について』論評」(『月刊部落問題』六八号、7月)

村崎勝利「部落解放運動からの提言—新法施行による新たな課題」(『月刊部落問題』六九号、8月)

(資料紹介)「神戸市同和地区環境改善研究会・中間報告(昭和57年3月)」(同右)

日本社会党部落解放運動推進委員会「『同和』新法』地域改善対策特別措置法』成立と今後の課題」

(『地方政治』二六八号、8月)

中村清二「人権・行政部門会議の概要」

(『部落解放研究』三二号、9月)

荻田哲男「同和对策新法制定と今後の課題」(同右)

友永健三「部落解放基本法について」(同右)

河野通博「1981年現状・行政研究の成果と課題」

(『部落問題研究』七十二号、9月)

中西義雄「(動向)行政・同和行政のあり方をめぐる論議」(同右)

岡田 要「『同和』新法具体化の闘いのために—『地域改善対策特別措置法』の問題点と今後の課題」

(『月刊社会党』三二五号、9月)

日本社会党部落解放運動推進委員会「(資料1)『同和』新法』

地域改善対策特別措置法』成立と今後の課題」(同右)

日本社会党中央本部「(資料2)『同和』新法』地域改善対策特別措置法』成立と今後の取組みについて」(同右)

【運 動】

部落解放同盟中央本部文化対策部「食肉市場のジャンヌ・ダルクの上演についての見解」(『部落解放』一八三号・7月)

大賀正行「『特別措置法』闘争をたたかって」(同右)

(資料)「『地域改善対策特別措置法』の施行についての各省連名事務次官通達」(同右)

(資料)「政府各省共通の質問と要求(部落解放同盟中央本部)」(同右)

本山 茂「十九年めの五月一日—『声』は聞こえた、『姿』は見えた—(狭山現地『悲鳴』『見通し』実験・実感取材)」

(同右)

八木晃介「(本)の紹介) 部落解放同盟奈良県連編『荆冠を祝福されるために—差別事件と糾弾闘争』」(同右)

大谷正明「第二七回全国婦人集会報告—着実に高まる力量」

(『解放教育』一五三号、7月)

成沢栄寿「部落解放運動、二つの潮流」

(『部落』四二二、7月)

(資料)「部落問題をめぐる主な動き(略年表)」(同右)

中西義雄「部落解放運動の新たな前進のために」(同右)

(資料)「俳優座『食肉市場のジャンヌ・ダルク』公演にたいす

る全解連の見解」(同右)

野間 宏「狭山裁判(第78回) 異議申立の棄却決定批判(14)」  
 (『世界』四四〇号、7月)

豊永 明「(発言合) 組合と解放研主導の同和研修を」  
 (『社会評論』三八号、7月)

佐和慶太郎「部落解放運動の当面する問題点」  
 (『労働運動研究』一五三号、7月)

解放新聞社編『解放新聞(縮刷版)』第一巻(同上、7月)

部落解放同盟中央本部・中央教対部編『部落解放第13回全国高校生  
 奨学生集報告集』(同上、7月)

部落解放同盟中央本部企業対策部編『1982年度中央企対部研  
 修会』(同上、7月)

部落解放同盟大阪府連合会・解放新聞社大阪支局編『被差別部落  
 に生きる朝鮮人』(同上、7月)

部落解放同盟愛知県連合会編『部落解放同盟愛知県連合会第7回  
 大会議案書』(同上、7月)

部落解放同盟大阪府連合会編『部落解放同盟大阪府連合会第29回  
 大会決定集』(同上、7月)

部落解放同盟大阪府連合会登壇池文部編『結成10年の歩み』  
 (同上、7月)

狭山中央闘争委員会「獄中七十日をこえて」〈狭山差別裁判第一  
 〇三三〉(同上、7月)

『戦争と部落差別』(『部落解放』一八四号、8月)  
 日野範之「広島・福島町の被爆の証言から」

(『歴史評論』三八八号、8月)

一瀬光一・魚崎弘(文責) 亀井トム(投稿) 部落解放運動への  
 内部告発第2弾 部落解放運動の腐敗と分解の危機—こんなこ  
 とで「狭山」の行詰りを打開できるか—

(『現代の眼』二七二号、8月)

磯村英一・上村一・山内一夫(激論) 冷視される「同和問題」  
 解決の道はこれだ」(『ジャパンポスト』二七卷九号、8月)

原田伴彦「部落問題の現状とその考え方について」

(『国語科通信』五〇号、8月)

井手幸喜「全国水平社創立六〇周年の記念事業によせて」

(『新しい歴史学のために』一六八号、民主主義科学者協会京  
 都支部歴史学会、8月)

御杖村同和教育推進協議会編『狭山事件学習資料編』

(同上、8月)

御杖村同和教育推進協議会編『狭山報告—足でたしかめた狭山の  
 謎』(同上、8月)

大阪郵便局連合部落解放研究会編『局内規「身元調査」条項糾弾  
 闘争—身元調査の完全撤廃にむけて』(同上、8月)

土井真喜子「分岐点」(中丹地方郵便局部落解放研究会、8月)

狭山中央闘争委員会「反核のうねり絶やすな」〈狭山差別裁判第  
 一〇四号〉(同上、8月)

大賀正行「新法制定の意義を正しく認識し解放行政の積極的推進  
 を求める」(『部落解放』一八五号、9月)

編集部「(緊急報告) 俳優座公演『食肉市場のジャンヌダルク』

西川正男「弾よけにされた部落出身兵士」

金子マリーティン「北川鉄夫氏の『有賀東大教授問題をめぐる感  
 想』を読んで」(同右)

今泉賢三・笹淵正三・潮上雄幸・稲積謙次郎ほか「新法下の運動  
 ・行政・教育—福岡・『新法』をめぐる学習会」(同右)

市川正昭「(本の紹介) 部落解放同盟中央本部編『人間として—  
 矢田教育差別事件の真実と虚像』」(同右)

海 新吉「わしらがやらんと、アカンのや—滋賀・木ノ川新  
 田の解放運動をになう若い群像」

(『解放教育』一五四号、8月)

大賀正行「同和对策新法をめぐる諸問題」(同右)

『特集』「戦争と部落問題—被爆37年」

(『部落』四二二号、8月)

天野卓郎「部落解放闘争と被爆者救援、反核の運動—「核時  
 代」における地域のたたかひ」

金崎 是「被爆者の生活と救援運動」

躍場チサ子「ノーモア・ヒバクシヤ訪米団参加記」

古田文和「第二回国連軍縮特別総会へのとりくみ」

山口勇子「ヒロシマと私」

東上高志「(今月の部落問題—同和教育) 部落解放運動の新しい  
 方向」(『月刊』の子も仲ひる』六四号、8月)

野間 宏「狭山裁判(第79回) 異議申立の棄却決定批判(15)」  
 (『世界』四四一号、8月)

馬原鉄男「歴史の眼—八鹿高校事件和解をめぐって」

糾弾闘争①(『東京部落解放研究』三二号、9月)

『特集』「新法」(地域改善対策特別措置法)をめぐる—

新法—地域改善対策特別措置法をめぐる学習会—

(『部落解放史』二七号、9月)

上杉佐一郎「(基調提案)『新法』をめぐる状況と我々の課  
 題」

羽音豊・林力・今泉賢三ほか「シンポジウム」

福島将美「被差別共同闘争からの報告(第3回)—部落解放県民  
 共闘会議のめいみ」(『部落解放研究』三三三号、9月)

桜井正志「(現地報告) 解同埼玉県連の分解と同和行政の課題」

(『部落』四二三号、9月)

兵庫県人権共闘事務局「『八鹿・朝来暴力事件』刑事公判大詰め  
 —「解同」側反証を終る」(『月刊部落問題』七〇号、9月)

野間 宏「狭山裁判(第80回) 異議申立の棄却決定批判(16)」  
 (『世界』四四二号、9月)

『一九八二年度一般運動方針(第一次草案)』

(『解放新聞』一〇八八号、9月)

部落解放同盟中央本部編『部落解放研究第16回全国集会』

(同上、9月)

部落解放同盟福岡県連合会編『部落解放研究第16回全国集会福岡  
 県活動報告集』(同上、9月)

部落解放同盟中央本部編『シンポジウム—新法5年をどう受けと  
 めるか』(同上、9月)

解放新聞社大阪支局編『解放新聞大阪版(縮刷版)』第四巻

167 <資料> 部落解放研究関係文献目録

(同上、9月)  
 部落解放同盟大阪府連合会編『活動家通信』一四号  
 (同上、9月)

狭山中央闘争委員会『再生のいぶきここに』(狭山差別裁判第一〇五号)(同上、9月)

(編集部)「差別図書購入が暴露—イメージダウンした6企業」

(『行政時事』一六一号、1981年8月)

(編集部)「企業の身元調査は憲法違反」

(『行政時事』一六二号、1981年9月)

(聞き手)中村弘康(仁賀奈祐吉氏に聞く)人権問題と企業の役割」(『行政時事』一六三号、1981年10月)

(編集部)「わが国初の第3セクター方式で同和地区人材雇用開発センターが発足(大阪府)」

(『行政時事』一六四号、1981年11月)

広島部落解放研究所編『解放をめざして—部落解放講座講演集』

(同上、1981年12月)

野間 宏「狭山裁判(第84回)異議申立の棄却決定批判(20)」

(『世界』四四六号、1982年1月)

大阪府企画部同和对策室編『部落地名総鑑』事件資料」

(同上、1982年3月)

部落解放同盟大阪府連合会寝屋川支部婦人部編『寝屋川支部婦人部10年のあゆみ—だいおけ』(同上、1982年3月)

部落解放同盟中央本部編『全国水平社創立60周年—松本治一郎記念館落成記念』(同上、1982年4月)

都職労中央市場支店食肉市場分会・全国一般神奈川地連全横浜屠場支部ほか編『これがと場への差別だ—俳優座公演『食肉市場のジャンヌダルク』糾弾の闘いの記録』

(同上、1982年5月)

第8回部落解放矢田地区研究会実行委員会編『差別をなくする運動と教育の前進のために』第8集(同上、1982年6月)

部落解放同盟飯塚市協議会編『人の世に熟あれ・人間に光あれ—故松本尊人追悼同盟葬顕彰のことば』

(同上、1982年6月)

部落解放第8回住吉地区研究会集実行委員会事務局編『部落解放第8回住吉地区研究会報告書』(部落解放同盟大阪府連合会住吉支部ほか、1982年6月)

(同上、1982年6月)

【理 論】

藤谷俊雄「(開会のあいさつ)—統一テーマにかかわって」

(『部落問題研究』七一号、7月)

石倉康次「同対答『答申』後の解放理論をめぐる」(同右)

馬原鉄男「80年代と部落解放理論の動向」

(『部落』四二二号、7月)

磯村英一「日本社会の特質と解放社会学の課題」

(『部落解放』一八四号、8月)

小原 仁「人間存在と差別—解放論ノート(二)」

(『関西大学部落問題研究室紀要』八号、8月)

上杉 聡「近代部落史研究の課題と解放理論①」

(『解放新聞』一〇八一号、8月)

大賀正行「新法成立と部落解放研究の課題」

(『部落解放研究』三二号、9月)

編集部「部落解放研究関係文献目録(1982年1月〜3月)」(同右)

《特集》「1981年部落問題研究の成果と課題」

(『部落問題研究』七二号、9月)

中村 正「部落解放理論研究をめぐる諸問題—1981年の成果と課題」

(『解放新聞』一〇八六号、9月)

上杉 聡「近代部落史研究の課題と解放理論②」

(『解放新聞』一〇八六号、9月)

堺市立解放会館図書室編『同和関係資料目録(昭和49〜56年度)』(同上、1982年3月)

【解放教育】

中川福督「(書評)『親の思い子の思い』」

(『ひょうご部落解放』六号、7月)

《特集》「戦後、福岡における同和と教育がめざしてきたもの(その二)」(『部落解放史ふくおか』二六号、7月)

河田武彦・日永田敏光・福田一平ほか「(座談会)戦後、福岡における『同和』教育がめざしてきたものとその課題(その二)」

(『部落』四二〇号、7月)

日券茂美「浦川光永さんを偲んで」

柴田光雄・鹿子島達男・角文隆ほか「(座談会)部落解放史

都職労中央市場支店食肉市場分会・全国一般神奈川地連全横浜屠場支部ほか編『これがと場への差別だ—俳優座公演『食肉市場のジャンヌダルク』糾弾の闘いの記録』

(同上、1982年5月)

第8回部落解放矢田地区研究会実行委員会編『差別をなくする運動と教育の前進のために』第8集(同上、1982年6月)

部落解放同盟飯塚市協議会編『人の世に熟あれ・人間に光あれ—故松本尊人追悼同盟葬顕彰のことば』

(同上、1982年6月)

部落解放第8回住吉地区研究会集実行委員会事務局編『部落解放第8回住吉地区研究会報告書』(部落解放同盟大阪府連合会住吉支部ほか、1982年6月)

(同上、1982年6月)

【理 論】

藤谷俊雄「(開会のあいさつ)—統一テーマにかかわって」

(『部落問題研究』七一号、7月)

石倉康次「同対答『答申』後の解放理論をめぐる」(同右)

馬原鉄男「80年代と部落解放理論の動向」

(『部落』四二二号、7月)

磯村英一「日本社会の特質と解放社会学の課題」

(『部落解放』一八四号、8月)

小原 仁「人間存在と差別—解放論ノート(二)」

(『関西大学部落問題研究室紀要』八号、8月)

上杉 聡「近代部落史研究の課題と解放理論①」

福元征洋「父母のねがい、要求にねざして—大阪府下でのPTA活動」

江口道子「北九州における同和教育ありのまま」

西村芳男「PTAにおける同和研修の課題と方法」

八木満喜夫「仲間と支え合うなかで—地域生徒のとりくみ」

(同右)

中野 功「(動向)教育・手帳な方法による部落調査を」(同右)

東上高志「旧法13年と新法5年の同和行政と教育」

(『部落』四二二号、7月)

《特集》「地域と教育の課題」

(『季刊同和教育運動』一八号、7月)

中西 昇「保育運動からみた地域・親・子ども」

坂本久幸「地域子ども会の現状と課題」

田中富士男「地域における父母のとりくみと非行の克服」

岩元志志「青年と地域における文化(教育)活動—すさみ町「文化村」の活動」

菅野照代「教育の谷間—その時私はどうしたか(II)」

大同啓五「地域改善対策特別措置法と同和教育」(同右)

(資料)「地域改善対策特別措置法に関する資料」(同右)

畦地享平「(書評)長野県高等学校教文会議同和教育専門委員会編集・なかもととにも—同和教育テキスト」(同右)

(資料)「第31次日教組、第28次日高教教研集会・人権教育分科会レポートの紹介」(同右)

(資料)「広島県戸手商高教諭に対する暴行事件高裁判決に関する資料」

(『資料』「広島県戸手商高教諭に対する暴行事件高裁判決に関する資料」)

堀田良演「満ち潮に似て」

藤井寿一「『す』のはなし—『死にたまふ母』の授業まで」

有田 耕「第七回広島解放研究会の周辺—機関誌『潮渠』集

る資料」(同右)

東上高志「〈今月の部落問題・同和教育〉『部落学校』解消」

(『月刊の子も伸びる』六三号、7月)

出口俊一「現代融和教育批判」(部落解放研究所編)は批判の

書たりえているか—小森龍邦論文を中心に(完)」

(『月刊部落問題』六八号、7月)

(資料)「第4回部落問題全学シンポジウム収録」

(『大阪教育大学教育研究所報』一七号、7月)

中間市立解放保育所「同和保育の現場から③全職員で保育を」

(『はらひば』二〇号、7月)

山中多美男「おやじの子育て日誌1—きょうだいげんか」

(同右)

中野陸夫「今日の教科書問題と同和教育」

(矢田同和教育推進協議会、7月)

八尾市教育委員会編「同和教育副読本にんげん研究資料その2」

(同上、7月)

兵庫解放教育研究会「むらさきも」No.16(同上、7月)

《後退を許すな大学奨学金給付制度》

(『部落解放』一八四号、8月)

編集部「後退を許すな大学奨学金給付制度」

(資料)「文部省大学局長通達、実施要綱、交付要綱」

玄番芳子「同和教育との出会い」(同右)

青山直人「玄番さんの記録を読んで」(同右)

田中欣和「(本の紹介)吉田猪三郎著『差別と私たちの暮らし』

—『同和』教育の新しい視点」(同右)

中村弘三「第一二回全国解放教育研究会集基調提案—解放教育運

動・その自立と連帯・新しく困難な時代に突入して」

(『解放教育』一五四号、8月)

全国解放教育研究会事務局「強靱な『にんげん』実践の構築を—

第九回『にんげん』実践研究会集総括」(同右)

《特集》「いちがいのもの群れ—広島島の解放教育」

(『解放教育』一五五号、8月)

〈第一部 親と地域と—実践報告・1〉

岡本精悟「『冬』を生きのびうる実践をこそ」

西島香代子「『花』のままの花をうたうな」

森保俊三「万古の伴を—生推倒智勇万古開拓心胸」

広中修二「むらの女の鼓動」

徳永典行「ある親とのつきあい—酒の場で聞いた話」

上村允之「絶望のただ中から蘇生を—教師にとっての解放教

育」

徳永典行「『部落—心得の糸』の話」

細谷史郎「淡々とした語りの衝撃—五・九在日朝鮮人子弟の

教育について父母から話を聞く会に参加して」

〈第二部 学びの場で—実践報告・2〉

多田 司「妥協なき自由・他との確執を」

岡田雄造「しゃべり始めたKのこと」

有田 耕「ケイジのことなど」

田原開起「一人が変わる時」

堀田良演「満ち潮に似て」

藤井寿一「『す』のはなし—『死にたまふ母』の授業まで」

有田 耕「第七回広島解放研究会の周辺—機関誌『潮渠』集

会総括を読む前に」

〈第三部 差別・しごと そして 生きること〉

善家幸二「萬人足・考」

高木幸男「なんでばかりにされにゃあいけんのか」

藤岡俊巳「あせるとすべる」

山本雄二「部落の中で」

〈第四部 状況とたたかい〉

小椋善正「鬼火となる夜」

金尾英明「いま、広島で起っていること」

広島県高等学校教職員組合定通部・定通特別委員会「少数者

のたたかいといとなみ—分・定つぶし阻止に起つ一群」

福地幸造「広島解放研に捧げるハナシ」

石田真一「大学における同和教育の課題」

(『部落』四二二号、8月)

東上高志「大学と同和教育—第六回懇談会の報告」(同右)

(資料)「大学における同和教育の調査結果について」(同右)

井上英之「(本棚)人物でつづる戦後同和教育の歴史 上・下—

東上高志著」(同右)

菅野照代「〈現場訪問〉盲学校との交流を軸にした三重県津市立

南郊中学校を訪ねて」

(『月刊の子も伸びる』六四号、8月)

津山市民主教育協議会調査部「中学生の成績調査から―新たな課題」(『部落問題―調査と研究』三九号、8月)  
 水田精喜「草分けの同和教育―地域とともに歩んだ教育実践」(文理閣、8月)  
 全国解放教育研究会編『資料集にんげん反戦平和編1』(明治図書、8月)

大阪府同和教育研究協議会編『第24回信貴山研実践報告集―同和』教育実践のさらなる深まりを(同上、8月)  
 前川 実「教育・地域部門会議の概要」(『部落解放研究』三十一号、9月)

寺沢亮一「新法』時代と解放教育の課題―全同教1982年度研究課題より(同右)

高橋峰和「府立松原高校の解放教育―8・6反戦平和登校のとりぐみ(同右)

村田 拓「八鹿高校差別教育糾弾闘争とその公判におけるたたかひ(上)」「部落解放」一八五号、9月)

中野陸夫「(本の紹介)大阪同和教育史料集編纂委員会編『大阪同和教育史料集』第一巻(同右)

部落解放同盟兵庫県連合会審町支部「同和』保育運動をめざして(『ひょうご部落問題』七号、9月)

川向秀武「福岡県における融和事業と融和教育―福岡県親善会の活動を中心に(『部落解放ふくおか』二七号、9月)

森山沾一「昭和初期部落解放教育の地域的展開―池田残(いけだのこゝろ)論ノート(『部落解放研究くまもと』三三号、9月)

《特集》「教師の記録」(『解放教育』一五六号、9月)

岡部悟・平島明彦・平山毅夫「じいちゃんにまけんごつがんばんない」  
 小沢有作「近代学校と差別」

寺沢亮一「『源流』のたしかさに学ぶ―高知市福祉部会著」  
 今日も机にちの子がいなり」

川合正明「教育と運動の結合を学ぶために―川内俊彦著『差別とたたかう教育』」

矢野 洋「中村抃三氏の実践にふれて―中村抃三著『夜明けを迎える人たち』」

天野忠雄「いま『体育の子』のこと―佐々木賢太郎著『新訂体育の子』」

金尾英明「出口への誘い―福地幸造著『落第生教室』」  
 畑井政雄「映画『教育は死なず』をみる(同右)

大森玉保「(『にんげん』実践シリーズ)子どもの声を聞こう―『ふたりのデネデラ坊』から(同右)

部落解放同盟浅香支部「我孫子『同推協』の結成について―大阪住吉区東部の教育共闘(同右)

教育の反動化を憂うる学者・研究者・文化関係者の会(資料)教科書制度確立に関する緊急要請書(同右)

中村抃三「(図書紹介)史料を解放教育運動の軸として―大阪同和教育史料集編纂委員会編『大阪同和教育史料集』(同右)

石田真一「同和教育研究の動向と課題」(『部落問題研究』七二号、9月)

東上高志「同和教育研究の成立と研究課題―部落問題研究者全国集会20年の総括(同右)

谷口幸男「(動向)教育・歴教協第34回大会―『人権と民族』分科会(『部落』四二三号、9月)

東上高志「(今月の部落問題)同和教育(部落の子)もたちとこ」とは(『月刊』の子も伸びる』六五号、9月)

村越末男「部落問題と基本的人権の教育(明治図書、9月)大阪府識字学級生経験交流会編『第3回大阪府識字学級生経験交流会基調提案』(同上、9月)

後藤誠也「同和保育の課題」(『鳥取大学教育学部研究報告』へ教育科学(二)巻二号、1980年12月)

豊中市立克明小学校編『全面発達と人間尊重の教育―あすを切り開いていくたくましい子どもに』(実践・研究紀要(Ⅹ))

(同上、1981年3月)

長野県教育委員会編『同和教育実践報告書学校教育編(5)』全教育活動における日常的な実践(同上、1981年3月)

駅家中学校区同和教育研究会編『同和教育の実跡』(福山市教育委員会、1981年3月)

関西大学編『講演記録―人権問題に関する講演会』(同上、1981年5月)

黒田芳之「やがて大人になる君たちに『同和問題をどう受けとめるか』」(現代同和教育シリーズ12)

(東方出版、1981年7月)

全国解放教育研究会編『解放教育の成立と展開Ⅰ～Ⅲ』(部落解

放教育資料集第11～13巻(明治図書、1981年9月)

部落解放同盟日之出支部婦人部ひのでよみかき教室編『文集ひので11号(木曜日)』(同上、1981年11月)

文部省編『昭和56年度同和教育研究協議会(学校教育関係)開催要項』(同上、1981年11月)

文部省編『昭和55年度全国同和教育研究協議会記録』(同上、1981年11月)

中野陸夫「大阪市における同和教育の歴史的研究(第2報)―1964年～1969年を中心として」(『大阪教育大学紀要第IV部門教育学』三〇巻三号、1982年1月)

奈良県解放保育研究会編『第6回奈良県解放保育研究会資料』(同上、1982年1月)

関西大学部落問題委員会編『部落問題と大学』(同上、1982年3月)

八尾市教育委員会編『昭和56年度よみかき教室文集合併号・いずみ・木の美』(同上、1982年3月)

長野県教育委員会編『同和教育実践報告書―学校教育編(6)―人権感覚の育成をめざす日常的な実践』(同上、1982年3月)

豊中市立克明小学校編『全面発達と人間尊重の教育―あすを切り開いていくたくましい子どもに』(実践・研究紀要(Ⅹ))

(同上、1982年3月)

大阪市教育研究所編『大阪部落子ども会関係(1)』(教育研究所紀要第一八九号(同上、1982年3月)

大阪市立大学同和問題委員会・大阪市立大学同和問題研究室編『部族問題資料』(同上、1982年4月)  
蛇草識字学級運営委員会編『文集はぐさ』(同上、1982年4月)

大谷学園編『大谷学園同和教育関係資料所蔵目録1982』(同上、1982年4月)

桃山学院大学部落問題委員会編『差別からの解放のために』(同上、1982年5月)

関西大学編『講演記録—人権問題に関する講演会』(同上、1982年5月)

部落解放更池地区教育を守る会編『雑草のあゆみ』(同上、1982年5月)

(同上、1982年5月)

板野勝野『学習集団による同和教育の授業』(現代同和教育シリーズ13)(東方出版、1982年6月)

熊本県教育委員会編『同和教育推進資料—同和教育をみんなのものにするために』(同上、1982年)

部落解放同盟飛鳥支部婦人部編『あすかのしきじり—1年間のあゆみ』(同上、1982年)

### 【人権】

土井たか子『中国残留日本人孤児の問題』

(『ひょうご部落解放』六号、7月)

鶴嶋雪嶺『海外ノート』(同右)

P・タンガラージ、辻由美訳『パッランとはどんな人たちか?』(5)

—南インド・タミル州の被差別カースト(アンタッチャブル)——パッランの歴史と現状』

(『部落解放史ふくおか』二六号、7月)

福井達雨『目に見えるものより目に見えないものを』

(『解放教育』一五三号、7月)

本多健吉(『図書紹介』趙璣著・徐龍達訳『近代韓国経済史』

(同右)

村田 拓(『図書紹介』高史明・岡百合子著『いのちの行方—人間とは何か?』(同右)

長谷川善計(『紹介』大塚秀之著『アメリカ合衆国史と人種差別』(『月刊部落問題』六八号、7月)

鎌田 慧(『財田川事件再審裁判報告—弁護側の証人に立った元捜査官』(『朝日ジャーナル』一二三三号、7月)

柏下芳則(『コンピュータによる住民管理は人権を侵害し差別を強化する』(『新地平』九五号、7月)

中西尚道(『世論調査とプライバシー』

(『新聞研究』三七二号、7月)

井上英夫(『障害者の人権保障をめぐる国際的動向と堀木訴訟』

(『法律時報』六六〇号、7月)

徐 龍達(『平和統一への一歩はまず用語から—韓国語・朝鮮語』問題を考える』(『朝日ジャーナル』一二二五号、7月)

柴山恵美子(『調査・統計から見た男女差別の現状』(『労働運動研究』一五三三号、7月)

中島通子(『家族法にみる個人の尊重・平等』

(『望星』一三巻七号、7月)

《特集》『女性が働く時代の意味』

(『エコノミスト』二四六九号、7月)

ヤンソン由実子(『国籍法にみる日本の排外主義—国際結婚の内側から』

袖井孝子(『女性の就労は家庭を破壊するか—働く女性に過大な二重の負担』

篠塚英子(『増大する女性労働の経済的インパクト—見直し迫られる経済制度』

大塚秀之(『ケアリー・マックウィリアムスとアメリカ合衆国の人種差別』(『橋論叢』八八巻一号、7月)

梅 敏雄(『「障害者」解放とは何か—「障害者」として生きることと解放運動』(拓植書房、7月)

山川菊栄(『女は働いている(1931~1944)』(山川菊栄集6)(若波書店、7月)

川上 武(『現代日本病人史—病人処遇の変遷』(勁草書房、7月)

広島県編『原爆被爆者対策事業概要』(同上、7月)

関西婦人労働問題研究会(『クリッピングジャーナル女性』No.9(同上、7月)

中山武敏(『冤罪の温床—代用監獄を固定化する—留置施設法・刑事施設法を廃案に追いこもう』

(『部落解放』一八四号、8月)

《特集》『孤絶の闘い』(『解放教育』一五四号、8月)

—南インド・タミル州の被差別カースト(アンタッチャブル)——パッランの歴史と現状』

(『部落解放史ふくおか』二六号、7月)

福井達雨『目に見えるものより目に見えないものを』

(『解放教育』一五三号、7月)

本多健吉(『図書紹介』趙璣著・徐龍達訳『近代韓国経済史』

(同右)

村田 拓(『図書紹介』高史明・岡百合子著『いのちの行方—人間とは何か?』(同右)

長谷川善計(『紹介』大塚秀之著『アメリカ合衆国史と人種差別』(『月刊部落問題』六八号、7月)

鎌田 慧(『財田川事件再審裁判報告—弁護側の証人に立った元捜査官』(『朝日ジャーナル』一二三三号、7月)

柏下芳則(『コンピュータによる住民管理は人権を侵害し差別を強化する』(『新地平』九五号、7月)

中西尚道(『世論調査とプライバシー』

(『新聞研究』三七二号、7月)

井上英夫(『障害者の人権保障をめぐる国際的動向と堀木訴訟』

(『法律時報』六六〇号、7月)

徐 龍達(『平和統一への一歩はまず用語から—韓国語・朝鮮語』問題を考える』(『朝日ジャーナル』一二二五号、7月)

柴山恵美子(『調査・統計から見た男女差別の現状』(『労働運動研究』一五三三号、7月)

中島通子(『家族法にみる個人の尊重・平等』

中 拓也(『島差別と闘う—鹿児島県から』

石本美子、石本百合子(『学童保育をつくる—親(指導者)と娘の記録』

岩淵徳好(『新たな連帯をめざして』

村松孝徳(『類』となることを求めて』

新崎盛暉(『沖縄復帰十年と新たな反戦闘争』(同右)

柴山恵美子(『講座・女性と労働—昨日・今日・明日(第3回)減量経営・行政改革下の女子労働』

(『季刊女子教育もんだい』一二号、8月)

中井憲治(『国連人権委員会における日本の役割』

(『人権通信』九八号、8月)

丸木位里・丸木俊(『ピカドン』(東邦出版、8月)

田原 洋(『関東大震災と壬辰天事件—もうひとつの虐殺秘史』

(三一書房、8月)

金 達寿(『私の少年時代—差別の中に生きる』

(ポプラ社、8月)

行政管理庁行政管理局編『プライバシー—保護の現状と将来—個人データの処理に伴うプライバシー保護対策』

(ぎょうせい、8月)

読売新聞社(『書かれる立場・書く立場—読売新聞の「報道と人権」』(同上、8月)

全国婦人の集い実行委員会編『85にむかって前進—男女の平等をめざして自立・連帯・行動』(第23回全国婦人の集い記録集)(同上、8月)

(同上、8月)

全日本労働総同盟編『1982年度働く婦人の健康月間活動のてびきー婦人差別撤廃条約の批准を促進させよう』(同上、8月)

関西婦人労働問題研究会『クリッピングジャーナル女性』No.10(同上、8月)

友永健三「世界人権宣言35周年(1983年)にむけたとりくみを開始しよう」(『部落解放研究』三二号、9月)

山際素男「インドにおける被差別民衆の実態と解放運動」(『部落解放』一八五号、9月)

阿川 良「(本を読む)書評と本の紹介」あらゆる人々が差別社会の中に生きているー新泉社編集部編『現代日本の偏見と差別』(『東京部落解放研究』三二号、9月)

友井公一「民主主義が生きている国ー朝鮮民主主義人民共和国をたずねて」(『ひょうご部落解放』七号、9月)

(資料紹介3)「『外国人登録制度』で要請文ー西宮市職労が問題提起」(同右)

中島智子「(書評)金慶海・梁永厚・洪祥進著『在日朝鮮人の民族教育』」(同右)

鶴嶋雪嶺「海外ノート」(同右)

横田耕一「アメリカにおける積極的差別解消策(アフアーマティブ・アクション)」(『部落解放史ふくおか』二七号、9月)

松本仁美「インドかけ足旅行記ー再びインドを考えるために」(『部落解放研究くまもと』三三号、9月)

藤林晋一郎「行動する若者たちー第2回『障害』をもつ仲間と

もに歩む大阪若者の集い」(『解放教育』一五六号、9月)

鈴木祥蔵「(図書紹介)『障害児』の生活と教育を保障しよう市民の会・大阪連合会編『世哭き石の唄』」(同右)

山崎隆志「海外労働事業ー婦人労働と母性保護ー欧州諸国における現状」(『日本労働協会雑誌』二八二号、9月)

石川守・バーバラ・カリー「住商判決の在米日本企業への衝撃ー人事で差別禁止の風圧高まる」(『エコノミスト』二四八〇号、9月)

鎌田 慧「財田川事件再審裁判報告ー長い独白の世界は聞かれたが」(『朝日ジャーナル』二二三二号、9月)

間庭恭人訳「(資料)年齢による差別や隔離のない社会をめざしてー国連高齢者問題世界会議行動計画(抄訳)」(同右)

平野恭子「(マスコミの焦点)プライバイシー保護研究会が報告書提出」(『新聞研究』三七四号、9月)

村上孝止「報道と人権をめぐる新聞界の動向」(同右)

高嶋伸欣「教科書から削られた日本兵による沖縄県民虐殺(シリーズ・教科書問題の舞台裏)」(『月刊教育の森』七〇号、9月)

部落解放同盟中央人権対策部「世界人権宣言35周年にむけた取りくみを」(『解放新聞』一〇八六号、9月)

朴 慶植編「戦時強制連行・労務管理政策I」(『朝鮮問題資料叢書第一巻』(アジア問題研究所、9月)

佐藤友之「私の『冤罪』闘争記ー弘前大学教授夫人殺し事件」と那須隆」(青年書館、9月)

竹村民郎『魔娼運動ー廓の女性はどう解放されたか』(中公新書663)(中央公論、9月)

粟生楽泉園患者自治会編『風雪の紋ー粟生楽園患者50年史』(同上、9月)

山神 進「難民条約と出入国管理行政」(日本加除出版、9月)

竹田 稔「名譽・プライバイシー侵害に関する民事責任の研究」(酒井書店、9月)

大島幸夫『新版沖繩の日本軍』(新泉社、9月)

優生保護法ニ憲法改悪と闘う女の会編『優生保護法改悪とたたかうために』(優生保護法改悪と闘う女の会、9月)

アラソカ・シーガル著・小柴一訳『やぎのあたまにーアウシニヒツツとある少女の青春』(ハンガリー・1939~1944)』(草土文化、9月)

佐藤友之『警察捜査の恐怖』(青年書館、9月)

全日本労働総同盟編『労働組合活動への婦人の全面的参加を促進しよう』(同上、9月)

関西婦人労働問題研究会『クリッピングジャーナル女性』No.11(同上、9月)

日本弁護士連合会再審法改正実行委員会『日弁連再審通信』No.28(同上、9月)

今野敏彦『文明のカオスー差別・偏見』(八千代出版、1980年2月)

丸木 俊え・文『ひろしまのピカ』(記録のえほん1)(小峰書店、1980年6月)

阪南中央病院水俣病研究会編『水俣病問題研究I』(同上、1980年6月)

岡林辰雄『われも黄金の釘一つ打つー弁護士としての生涯』(大月書店、1980年12月)

林 瑞枝「アルジェリアの独立と国籍問題(I)」(『アジア経済』二二巻二号、1981年2月)

林 瑞枝「アルジェリアの独立と国籍問題(II)」(『アジア経済』二二巻三号、1981年3月)

徳島県商工労働部労政訓練課編『徳島県勤労婦人実態調査』(同上、1981年3月)

嶋津千利世「婦人問題企画推進会議意見にふれて」(『婦人通信』二五六号、1981年5月)

今津 晃「黒人の市民的自由を求めると闘いーNAACPとW・E・B・デュボイスを中心に」(『第一次大戦下のアメリカー市民的自由の危機』所収、柳原書店、1981年5月)

国立婦人教育会館『婦人問題書誌の書誌』(同上、1981年5月)

一柳豊勝「心身障害者の雇用対策とその現状(へ身体障害者雇用促進法の一部を改正する法律(昭55・12・25公布 法律第一一〇号)をめぐって)」(『同朋大学論叢』四四・四五号、1981年6月)

(編集部)「障害者雇用の現状とその問題点を探る」(『行政時事』一五九号、1981年6月)

木庭 宏『ハイネとユダヤの問題ー実証主義的研究』(松嶺社、1981年7月)



(編集部) 『『ブライバシー保護』についての日本人の意識は』

(『行政時事』一六一号、1981年8月)

小松隆二編著『難民問題入門』(論創社、1981年8月)

労働省婦人少年局編『婦人の地位—情報№8』(婦人関係一般資料№102)(同上、1981年9月)

新居広治・滝平二郎・牧大介『花岡ものがたり』(木刻連環画集)

』(無明舎出版、1981年10月)

神奈川県民生部障害福祉課編『障害福祉白書』

(同上、1981年10月)

京都府編『京都府母子世帯生活実態・調査結果(抄)』

(同上、1981年10月)

京都市総務局婦人計画課編『京都市民の婦人問題に関する意識状況—婦人問題についての世論調査結果報告書』

(同上、1981年11月)

大阪市立図書館編『大阪市立図書館障害者(児)関係所蔵図書目録』(同上、1981年12月)

久野木行美編『国際労働基準—ILO条約の手引き』(1981年版)』(ILO東京支局、1981年12月)

京都府編『婦人の地位の向上と福祉の増進を図る京都府行動計画』(同上、1981年12月)

雇用職業総合研究所編『中高年婦人の雇用管理・就業意識に関する調査研究報告書』(職研調査研究報告書№17)

(同上、1981年12月)

阪南中央病院水俣病研究会編『水俣病問題研究Ⅱ』

(同上、1981年12月)

(同上、1981年12月)

永井憲一『現代行政と『新しい人権』の位相』

(『法学志林』七九巻二号、法政大学、1982年1月)

松村尚子『婦人研究者の現状と問題—実態調査結果を中心にして』(『大谷大学研究年報』三四号、1982年2月)

国際障害者年日本推進協議会編『障害者関係団体名鑑1982』

(同上、1982年2月)

京都府編『男女協力社会の発展を目指して—婦人の地位の向上と福祉の増進を図る京都府行動計画』のあらまし』

(同上、1982年2月)

落合福司『別居制度と離婚—その歴史的関連性』

(『帯広大谷短期大学紀要』一九号、1982年3月)

大橋隆憲『障害者統計と『社会的不利』—WHOのハンディキャップの評価法を中心に』

(『東京経大会誌』一二五号、1982年3月)

野口武徳『家船部落の社会構成—とくに社会集団を中心として』

(『日本常民文化紀要』八号(Ⅱ)、成城大学大学院、1982年3月)

大沢真一郎『解放のための言語教育試論』

(『木野評論』一三三号、京都精華大学、1982年3月)

国立国会図書館参考書誌部編『心身障害者関係文献目録1945〜1981』(国立国会図書館、1982年3月)

愛媛女性史サークル編『愛媛の歴史をつくった女性たち』

(同上、1982年3月)

大阪市婦人問題対策推進協議会編『婦人問題ハンドブック』

(同上、1982年3月)

大阪市教育研究所編『近代における日本と隣国の歴史(在日外国人の人權を尊重する教育をすすめるための研修用資料)』

(同上、1982年3月)

国立婦人教育会館情報図書室編『国立婦人教育会館所蔵図書目録』第一編(同上、1982年3月)

内閣総理大臣官房老人対策室編『高齢者問題関係図書文献目録』

(全国社会福祉協議会、1982年4月)

水上 勉『生きる日々—障害の子と父の断章』

(おとう社、1982年4月)

市川承八郎『イギリス帝国主義と南アフリカ』

(晃洋書房、1982年4月)

男女平等問題専門家会議編『雇用における男女平等の判断基準の考え方について』(同上、1982年5月)

申在孝著・姜漢永・田中明訳註『パンソリ』(東洋文庫409)

(平凡社、1982年5月)

日本婦人団体連合会編『婦人白書』1982年版

(草土文化、1982年6月)

沖縄県人会兵庫本部編『ここに溶けあり—沖縄県人会兵庫本部35年史』(同上、1982年6月)

後藤安彦『逆光の中の障害者たち—古代史から現代文学まで』

(千書房、1982年6月)

【社会啓発】

〈特集〉『社会啓発—その課題と方向』

(『部落解放』一八三号、7月)

小森哲郎『市民啓発のあり方』

友永健三『最近の差別事件と啓発の課題』

加藤敏明『人権草の根運動と社会啓発』

香野貞人『同和問題解決に取り組む企業の課題』

東京同企連・広島同企連ほか『各地の同企連、企業の活動から』

人権啓発推進大阪協議会事務局『人権協と身元調査お断り運動』

元木 健『広報コンクルの取り組みから—人権啓発の

部』の審査結果について』

南 秀雄『新聞による同和広報の取り組み』

鳥取市教育委員会『市報による啓発活動の歩み』

小川 悟『(本の紹介) 八木晃介著『差別意識の状況と変革』

(同右)

(資料) 『(県内情報) フィルム紹介・三田市』

(『ひょうご部落解放』六号、7月)

部落解放研究所啓発企画部編『社会啓発情報』№8

(同上、7月)

八尾市教育委員会編『第17回八尾市同和教育月間人権作品集』

(同上、8月)

人権啓発推進大阪協議会編『よりよき指導層をめざして』第二号

(同上、8月)  
加藤敏明「啓発・運動部門会議の概要」

(『部落解放研究』三二号、9月)

加藤敏明「今日における啓発のとらえ方について」(同右)  
今堀 健「郵政『同和』研修の成果・問題点・今後の課題」

(同右)

香野真人「企業同和問題アンケートに関する中間報告」(同右)  
元木 健「(書評)八木晃介著『差別意識の状況と変革』」

(同右)

福岡安則「『同和問題講演会』から」差別問題における知識と感性」(『東京部落解放研究』三二号、9月)

(資料)「(県内情報)フィルム紹介・三木市」

(『ひょうご部落解放』七号、9月)

部落解放研究所『社会啓発情報』No.9(同上、9月)  
埼玉県教育局同和教育課編『同和教育映画「けやきの空に」利用

手引き』(同上、1981年3月)

埼玉県教育局同和教育課「わたしたちの同和問題」第九集

(同上、1981年12月)

埼玉県教育局同和教育課編『地域ぐるみの同和教育』(『社会同和教育事例第12号』)(同上、1982年2月)

鳥取市教育委員会・鳥取市同和教育協議会編『同和問題関係用語解説集』(同上、1982年2月)

北九州同和对策推進協議会編『論集いぶき』第二号

(同上、1982年3月)

人権啓発推進大阪協議会編『差別のない明るい社会をめざして』

「身元調査お断り運動」の推進』(同上、1982年3月)

和歌山県教育庁社会教育課編『昭和56年度社会同和教育資料集—実践に学ぶ—その7』(『社会同和教育資料第12集』)

(同上、1982年3月)

柏原市市民部同和对策室編『人権のひろば』(『同和問題学習第2

シリーズ4』)(同上、1982年3月)

大阪府教育委員会編『みんなが手をつなぐために』

(同上、1982年4月)

摂津市同和事業促進協議会編『同和問題・人権啓発をすすめるために—同和行政必携集追録版』(同上、1982年4月)

北九州同和对策推進協議会編『同和問題と私のかかり—人権週間記念講演・1981年』(同上、1982年5月)

北九州同和对策推進協議会編『企業と同和問題—同和問題の早期解決をめざして』(同上、1982年6月)

埼玉県民部広報課編『同和問題の解決をめざして—昭和57年版』(同上、1982年)

### 【文化・思想】

部落解放同盟中央本部文化対策部「『食肉市場のジャンヌ・ダルク』の上演についての見解」(『部落解放』一八三号、7月)  
小川正巳「表現と差別—プレヒトの『食肉市場のジャンヌダルク』上演によせて」(同右)

西田ふみえ「(詩)のひるば(今の子は知らんやろナ)」

(『ひょうご部落解放』六号、7月)

直原弘道「(文化活動)剪紙(せんし)による『水平社宣言』の制作活動」(同右)

小沢昭一・土方鉄「(書評)『芸能入門・考』—芸に生きる」(同右)

亀井千寿「地域における教育・文化活動の歩みと今日の課題」

(『部落問題研究』七二号、7月)

北川鉄夫「いくつかの文化所産から」

(『部落』四二二号、7月)

(資料)「俳優座『食肉市場のジャンヌ・ダルク』公演にたいする全解連の見解」(『部落』四二二号、7月)

青木孝寿「出版の自由と図書館問題(1)—その基調の問題点」

(『国民融合通信』九八号、7月)

松江ちづみ「あんちゃん(第8回部落解放文学賞児童文学部門佳作・連載第4回)」(『部落解放』一八四号、8月)

「創る—みんなで作る文化のページ」(同右)

かわうちたか子「(詩)ともにいきる」(同右)

北川鉄夫「俳優座プレヒト劇問題をめぐって」

(『月刊部落問題』六九号、8月)

斎藤 真「『差別と言語』①『差別用語についての二つの意見』

(『アマニャー同朋運動研究会紀要』二二号、8月)

三上 治「アジア的共同性と天皇・部落」

(『天皇制研究』五巻、8月)  
西沢舜一「芸術と暴力—プレヒト劇介入の意味するもの」

(『前衛』四八二号、8月)

梶川雅宏「出版の自由と図書館問題(2)—図書館の自由と部落問題」(『国民融合通信』九九号、8月)

阿部保一「言論・出版の自由と図書館運動—その光と闇の素描」(同右)

松江ちづみ「あんちゃん(第8回部落解放文学賞児童文学部門佳作・連載第5回)」(『部落解放』一八五号、9月)

「特集」『差別と表現(上)』

(『東京部落解放研究』三二号、9月)

編集部「(緊急報告)俳優座公演『食肉市場のジャンヌダルク』糾弾闘争①」

横山正和「『破戒』の批評史と部落問題」

梅沢利彦「証言・映画『橋のない川』の差別性」

金城 実「肝苦しさに支えられた笑い—沖繩の表現」

大串夏身「(本を読む—書評と本の紹介)『言語と差別』に関する原理的考察—塩見鮮一郎著『言語と差別』」(同右)

大串夏身「(本を読む—書評と本の紹介)戦後文学の中の部落問題を時間を追って明らかに—梅沢利彦・平野栄久・山岸嵩著『文学の中の被差別部落像—戦後編』」(同右)

直原弘道「(文化活動)うたいだせこの街から/光玄」

(『ひょうご部落解放』七号、9月)

藤川治水「竹中英太郎画譜—怪奇絵のなかの反差別」

(『部落解放研究くまもと』三三号、9月)

部落解放同盟中央本部文化対策部編『私たちの創造—書く・創る』

・演じる・唄う」(解放出版社、9月)

野間 宏(構成/岡庭昇)「わが体験わが文学—仏教・自然・人間—」(『第三文明』二二八号、1980年5月)

大田正紀「島崎藤村『破戒』論(2)」(『日本文学研究』三二卷三号、関西学院大学、1980年9月)

五十嵐富夫「藤村の『破戒』モデル考」(『群女国文』九号、群馬女子短期大学、1980年12月)

川端俊英「『破戒』と後統部落問題文芸—泡鳴の『斧の福岡』・『部落の娘』について」

(『同朋大学論叢』四四・四五号、1981年6月)

坂市 巖「小説・雑草は踏まれて」

(『雑草は踏まれて』刊行委員会、1981年8月)

田宮裕三「作家・作品論—連載第2回—西光万吉の文学」

(『極光』二号、1982年2月)

荒井糸江「差別につらめられた私の半生—荒井糸江・生活記録集」(部落解放同盟須坂市協議会、1982年2月)

部落解放文化遺産調査委員会編「信州の部落の遺産—文化遺産調査報告」(部落解放同盟長野県連合会、1982年3月)

三國連太郎「白い道—法然・親鸞とその時代」(第一部上中下)(毎日新聞社、1982年5月)

福岡武久「(書評)村田拓著『荒れすぎた野に立つ子ら』—共に生きる道を模索する」

(『文学学校』二〇九巻、1982年6月)

(資料)「1981年度中央仏教学院同朋運動講座」(同右)

仲尾孝誠「(資料紹介)『町田発言』から『同宗連』結成まで」(同右)

白川和子「(資料)1981年度中央仏教学院同朋運動講座・アンケート結果報告書」(同右)

《特集》「同和問題」(『月刊現代文化資料宗教』一号、8月)

谷口修太郎「信仰と解放・差別と宗教」(学校生活には違和感)」(『南御堂』二四二号、8月)

沖浦和光「親鸞伝説をひっくり返す—三國連太郎さんにく」(『解放新聞』一〇八一号、8月)

部落解放研究所編「宗教と部落問題」(同上、8月)

《人間平等の思想と宗教者の姿勢》

(『部落解放』一八五号、9月)

青山直人「問われる宗教者の姿勢」

仲尾俊博「『差別戒名』をめぐる三冊の差別図書—その2—『禅門小僧訓』」

梅原正紀「曹洞宗の現況—その問題点と課題」

小林大二「部落と浄土真宗—長野県上田市付近の墓標調査から」

保倉忠明「埼玉の『差別戒名』」

《特集2》「第一歩を踏みだした『同兵宗連』」

(『ひょうご部落解放』六号、7月)

村上 元「同和問題にとり組む兵庫県宗教教団連絡会議の発足に際して」

望月廣三「『同兵宗連』発足への足とりと今後の課題」

石尾芳久「(書評)『差別戒名と部落の起源』」

(『ひょうご部落解放』六号、7月)

小森竜邦、村越末男、柏原祐泉ほか「(座談会)同和問題と『宿業』—どのような宿業観が部落差別を助長するのか」

(『身一同和研究会』五号、7月)

佐々木智憲「『かくれ念仏』が今問うものは—『かくれ念仏と部落差別』実態調査から—」(同右)

訓頼信雄・橋了法「(対談)同和問題と同朋会運動」(同右)

原田伴彦「仏教と部落問題」(『大法論』四九巻七号、7月)

鈴木徹衆「宗教界における部落問題のとらえ方」

(『国民融合通信』九八号、7月)

谷口修太郎「信仰と解放・差別と宗教」(幼い時から働きもの。フラを打つキクヨさん)」(『南御堂』二四〇号、7月)

森本寛修「真宗学匠の旃陀羅刹」

(『マヌジャー—同朋運動研究会紀要』二号、8月)

高倉現進「『同朋運動の理論と実践』を読む」(同右)

岩本孝樹「私的『同朋運動断片的総括覚書』」(同右)

(『宗教の現在—日本人の宗教観』所収、人文書院、9月)

川村 壮「東三河(愛知県東部)の宗教差別」

(『国民融合通信』一〇〇号、9月)

部落問題研究所編「宗教と部落問題」(同上、9月)

林 久良編「明治・大正期(1889年~1926年)における部落問題と宗教に関する新聞記事切り抜き集」

(解放出版社、9月)

大谷大学同和教育委員会編「私の親鸞と部落解放運動」(同和教

育資料7)(大谷大学、1982年3月)

同和問題にとり組む宗教教団連帯会議編「同和問題とは」(同宗連資料シリーズ1)(同上、1982年3月)

差別戒名を糾す会編「ドキメント—太陽の涙・石の証言」(同上、1982年)

## 【通史】

川内俊彦「みんなの人権教室—宗教と差別と人権特集」

(八尾同和教育研究資料編集委員会、1982年)

原口頼雄「(提言)井元麟之さんのこと—水創立六〇周年に思う」(『部落解放史ふくおか』二六号、7月)

秋定嘉和「『資料』を読んで考えていること」

(『解放教育』一五三号、7月)

(語り手)花山清(聞き手)上野英信「水平社結成前後と私の思

い出」(3)(同右)

成沢栄寿「日本の民主主義と部落問題研究の課題—歴史研究」

(『部落問題研究』七一号、7月)  
本田 豊「狭山の部落史(4) 形成と解放へのたたかい」  
(『狭山差別裁判』一〇三号、7月)

中尾健次「連載・部落史研究と教育の課題②―部落史教育の現状と課題―中世被差別身分に関する最近の研究を通して」  
(『同和教育』二四四号、7月)

青木孝寿「出版の自由と図書館問題(1)―その基調の問題点」  
(『国民融合通信』九八号、7月)

清水富雄「松本追放反対のハンストで―この人に聞く⑧」  
(『解放新聞』大阪版、五一号、7月)

灘本昌久「史料調査報告―亀岡市2」  
(『京都部落史研究所報』五五号、7月)

部落解放研究所編『盛田嘉徳部落問題選集』(同上、7月)  
東の歴史を掘りおこす会編『島村の歴史と生活』  
(『部落解放同盟大阪府連員塚支部』7月)

蛇草の歴史をつくる会事務局「ふみあと(蛇草の歴史をつくる会  
会報)』第十三号(同上、7月)

石川一郎「連載第3回)被差別部落ノート―狭山・わが郷土の  
覚え書」(『部落解放』一八四号、8月)

松井久吉「わが半世の記・5―役場にて」  
(『解放教育』一五四号、8月)

本田 豊「狭山の部落史(5) 形成と解放へのたたかい」  
(『狭山差別裁判』一〇四号、8月)

渡辺広・(聞き手)鈴木良「(私の歴史研究) 地域にふかく根ざ  
して(上)」(『歴史評論』三八九号、9月)

古沢千代勝・藤本泉「(資料) 藤本修氏の記録から(第2回)」  
(同右)

松井久吉「わが半世の記・6―家のことなど」  
(『解放教育』一五六号、9月)

川村善二郎「(本棚) 解放運動とともに―上田市市のあゆみ―  
重興部落史研究会」(『部落』四二三号、9月)

渡辺広・(聞き手)鈴木良「(私の歴史研究) 地域にふかく根ざ  
して(下)」(『歴史評論』三八九号、9月)

蛇草の歴史をつくる会事務局「ふみあと(蛇草の歴史をつくる会  
会報)』第十四号、同上、9月)

稲田耕一「安富長野の沿革史―その成立から現在までの推移」  
(長野会館、1982年2月)

西村 卓「ある大鼓との出会い」  
(『真史たより』七号、福岡地域史研究所、1982年5月)

【前近代】

松尾準一「続・近世豊前地方における皮革産業」  
(『部落解放史ふくおか』二六号、7月)

峰岸純夫「日本中世の身分制研究をめぐって―非人身分を中心に  
―」(『部落問題研究』七一号、7月)

渡辺 広「未解放部落の原初形態―共同体に関連して」  
(同右)

三浦圭一「部落の生活史4―農村の開発と中世賤民」(同右)

平井清隆「部落の匠者・山田亀月―差別との壮烈な戦い」

して(上)」(『歴史評論』三八八号、8月)

中尾健次「連載・部落史教育の現状と課題③―部落史教育の現状  
と課題―近世被差別部落における労働と生産」  
(『同和教育』二四五号、8月)

郷土の歩み、編集委員会編『郷土の歩み』十三号(同上、8  
月)

米田 富「水平社運動余話」(『部落解放』一八五号、9月)

石川一郎「連載第4回)被差別部落ノート―狭山・わが郷土の  
覚え書」(同右)

中尾健次「(本の紹介) 京都部落史研究所編『部落史研究文献目  
録』」(同右)

本田 豊「(連載) 被差別部落形成伝承譚第5回―平井家文書・  
武州文書・相州文書・肥塚村郷土誌ほかから」

小森春雄「(書評) 『ゆりかご会』編集『解放の年輪(兵庫県戦  
前社会労働運動回想録)』」

安達五男「(書評) 伊丹部落史研究会編『伊丹被差別部落のあゆ  
み』」(同右)

中村正夫「松崎文書館の設立を祝す」  
(『部落解放史ふくおか』二七号、9月)

松崎不二子・俊一・菜穂子「文書館の完成にあたって」(同右)

原口顕雄「部落解放運動がめざしてきたもの―福岡連隊事件と井  
元麟之氏の歩みを中心として」

(『部落解放研究くまもと』三三号、9月)

田良島哲「大徳寺の葬儀と蓮台野」  
(『京都部落史研究所報』五五号、7月)

三浦圭一「部落の生活史5―中世賤民の或る裁判沙汰」  
(『部落』四二三号、8月)

水内昌康「美作血税一揆の周辺より(その4)」  
(『部落問題―調査と研究』三九号、8月)

人見彰彦「(シリーズ) 部落史のひとこま」(同右)

調査研究所研究部会・歴史(前近代)「(史料解説) 打牛仕候者  
一件(一)」(同右)

小西愛之助「落牛一件―和泉国泉郡南王子村と和泉国大鳥郡豊田  
村との争論」(『関西大学部落問題研究室紀要』八号、8月)

山本尚友「寺院史料にみる部落の成立(上)」  
(『京都部落史研究所報』五六号、8月)

田良島哲「(書評) 脇田晴子著『日本中世都市論』」  
(『新しい歴史学のために』一六八号、8月)

神野清一「(報告) 日本古代社会と賤民(シンポジウム・歴史に  
おける身分と社会)」(『歴史評論』三八八号、8月)

松尾剛次「勧進の体制化と中世僧侶―鎌倉後期から南北朝期を中  
心として」(『日本史研究』二四〇号、8月)

岩口和正「日本古代身分制についての覚え書(その一)」  
(『歴史の理論と教育』五四号、名古屋歴史科学研究会、8月)

北九州部落解放史編纂委員会「北九州部落解放史資料(近世5)  
」(近世小倉藩庄屋文書その4)『(同上、8月)

《特集》「第4回全国部落解放研究者集会」

(『部落解放研究』三二一号、9月)

中尾健次・寺木伸明・落合重信・安達五男「ヘシンボジウ  
△被差別部落の起源をめぐって」

のびしょうじ「部落史研究と史料批判」

(『部落解放史ふくおか』二七号、9月)

大塚正文「肥後藩における皮革産業」

(『部落解放研究』三三三号、9月)

前 圭「前近代部落史研究の方法と課題」

(『部落問題研究』七二号、9月)

三浦圭一「部落の生活史6——中世賤民の耕作権確保運動」

(『部落』四二二号、9月)

《特集》「神戸の部落史研究」

(『紀要部落問題研究』七号、9月)

阿部真琴「新田開発村の皮多——旧明石郡領新田組を中心とし  
る」

のびしょうじ「封建制的賤民支配の成立——摂津風呂谷皮多集  
落に即して」

落に即して」

前 圭一「(資料紹介) 風呂谷関係文書——山林出入関係」

山本尚友「寺院史料にみる部落の成立(下)」

(『京都部落史研究所報』五七号、9月)

中尾健次「(図書紹介) 物語る皮革業の発展——福岡部落史研究会  
篇『筑前国革座記録』中巻」

(『解放新聞』一〇八九号、9月)

と展開」(神戸新聞出版センター、1980年12月)

北川 健「(書評と紹介) 布引敏雄著『長州藩部落解放史研究』

」(『日本史研究』二二二号、1981年1月)

三浦圭一「日本中世における地域社会——和泉国を素材として」

(『日本史研究』二二三号、1981年3月)

広島県編「身分制社会の構成」

(『広島県史・近世1』所収、同上、1981年3月)

細川涼一「中世大和における律宗寺院の復興——竹林寺・般若寺・  
喜光寺を中心に」

(『日本史研究』二二九号、1981年9月)

馬田綾子「中世京都における寺院と民衆」

(『日本史研究』二二五号、1982年3月)

横田冬彦「幕藩制前期における職人編成と身分」(同右)

福岡部落史研究会編『筑前国革座記録』中巻(部落解放史史料叢  
書2)(同上、1982年3月)

塚本 学「網言政権の歴史的的位置をめぐって」

(『日本史研究』二二六号、1982年4月)

細田涼一「馬田綾子氏「中世京都における寺院と民衆」をめぐっ  
て」(『日本史研究』二二七号、1982年5月)

塚本 学「近世史部会報告——横田冬彦『幕藩体制前期における職  
人編成と身分』についての若干の感想」(同右)

大森久雄「近世・倉敷村の非人」

(『岡山地方史研究会会報』三二二号、1982年6月)

関口 明「古代の清掃と徒刑」

(『日本歴史』四二二号、9月)

岩口和正「日本古代身分制についての覚書(その2)」

(『歴史の理論と教育』五五号、9月)

小西愛之助「近世部落史研究」

(関西大学部落問題研究室、9月)

棚橋光男「人民売買文書2点をめぐって」

(『日本史研究』二〇三三号、1979年7月)

妻鹿淳子「備前藩における非人と日蓮不受不施派について」

(『日本史研究』二〇八号、1979年12月)

義江明子「日本古代奴婢所有の特質——戸令応分条の分析を通じ  
て」(『日本史研究』二〇九号、1980年1月)

福田佳武「紀州における近世未解放部落の研究ノート」

(『社会学の広場』二二二号、和歌山大学、1980年2月)

後藤正人「1870年・平民苗字許可令の一特質——朝藩権力と民  
衆の動向」(同右)

小南孝子「未解放部落の成立時期について」(同右)

広島県編「身分制度の解体と土族授産」

(『広島県史・近代1』所収、同上、1980年3月)

網野善彦「(書評と紹介) 大山喬平著『日本中世農村史の研究』」

(『日本史研究』二二五号、1980年7月)

乾 宏巳「(書評と紹介) 南和男著『幕末江戸社会の研究』」

(『日本史研究』二二八号、1980年10月)

日井寿光編著「のびく文庫編『兵庫の部落史——近世部落の成立  
と展開』」

(『日本史研究』二二八号、1980年10月)

#### 【近現代】

青木孝寿「一九二〇年代の社会運動と部落問題——長野県の具体  
例」(『部落問題研究』七一号、7月)

田窪清秀「ひとつの教訓の歴史2——水平社解消息見書から部落委  
員会活動まで」(『社会評論』三八号、7月)

竹本豊重「明治維新と部落問題——新見地域を中心に」

(『部落問題——調査と研究』三九号、8月)

市川訓敏「官武外骨と被差別部落」

(『関西大学部落問題研究紀要』八号、8月)

谷口勝己「戦後部落の子どもたち(終稿)」

(『月刊滋賀の部落』七八号、8月)

楠川由久「大阪西浜水平社創立まで——全国水平社『水平』第二号  
(一九二二年十一月)から」

(『解放新聞』大阪版、五一五号、8月)

部落解放同盟群馬県連合会編『群馬県部落解放運動60年史』

(同上、8月)

福本正夫「水平運動における転向——西光万吉における転向の軌  
跡」(同上、8月)

中野陸夫「(本の紹介) 大阪同和教育史料集編纂委員会編『大阪  
同和教育史料集』第一巻」(『部落解放』一八五号、9月)

大串夏身「全国水平社に関する新聞記事索引——全国水平社と日本  
労働運動①」(『東京部落解放研究』三二二号、9月)

川向秀武「福岡県における融和事業と融和教育——福岡県親善会の  
活動」

(『福岡県史』二二二号、9月)

- 活動を中心に」(『部落解放史ぶくおか』二七号、9月)  
 ※特集※「菊池地方を中心とした熊本県水平社の動向」  
 (『部落解放研究くまもと』三号、9月)  
 上田穰「熊本県水平社の結成と運動」  
 野口清明「私と水平運動のかかわり」  
 菊池支部員・木下堅ほか「座談会」あの頃のくらしとた  
 か」  
 森山浩一「昭和初期部落解放教育の地域的展開―池田残(いけだ  
 のこゝろ)論ノート」(同右)  
 中村祐三「(図書紹介)史料を解放教育運動の軸として―大阪同  
 和教育史料集編集委員会編『大阪同和教育史料集』」  
 (『解放教育』一五六号、9月)  
 池田敬正「1981年近・現代部落史研究の成果と課題」  
 (『部落問題研究』七二号、9月)  
 上野祐一良「みこしかつき闘争と自由民権」  
 (『紀要部落問題論究』七号、9月)  
 足立雅子「(史料紹介)神戸区会議事録・淡東区会議事録」  
 (同右)  
 青木孝寿「報徳社運動家と部落問題―神戸湊のこと」  
 (『Fa verbo』二二号、長野県短期大学、1979年9月)  
 後藤 靖「(研究ノート)天皇制国家と身分制について」  
 (『日本史研究』二〇六号、1979年10月)  
 シンポジウム準備小委員会「1979年度日本史研究会大会に向  
 けて―へ全体会」シンポジウム『近代天皇制国家と市民社会』

- の準備状況について」(同右)  
 研究委員会「全体会シンポジウムテーマ説明―シンポジウム『近  
 代天皇制国家と市民社会』について」  
 (『日本史研究』二二一号、1980年3月)  
 岩井忠熊「成立期近代天皇制と身分制―華士族制度を中心とし  
 て」(同右)  
 広島県編「部落問題と『部落改善』政策」  
 (『広島県史・近代』所収、同上、1980年3月)  
 京都部落史研究所編『復刻部落解放人民大会速記録』  
 (『部落解放同盟京都府連合会』1982年2月)  
 部落解放同盟京都府連合会編『写真集・京都の解放運動』  
 (同上、1982年2月)  
 福岡県社会福祉協議会編「福岡における解放運動50年の歴史(略  
 年表)」(『福岡県社会福祉事業史』上巻所収、同上、198  
 2年3月)  
 川向秀武「近代福岡県の被差別部落の生活課題と解放運動」(同右)  
 川向秀武「部落改善から地方改善へ」(同右)  
 川向秀武「融和事業と福岡県親善会の動き」(同右)  
 和歌山市史編纂委員会編「戦後部落解放運動の発端」(『和歌山  
 市史』9巻・近現代資料Ⅲ)所収、和歌山県、1982年3月)  
 部落解放同盟九州ブロック会議・部落解放同盟福岡県連合会編  
 『九州水平社創立60周年記念集』(同上、1982年4月)  
 薩本昌久「改姓問題をめぐる徴兵拒否の闘い―太平洋戦争下の差  
 別糾弾」(『京都部落史研究所報』五四号、1982年6月)